

【研究概要】

「起立性調節障害の症状悪化および遷延化の原因は運動不足による心血管 deconditioning である」という仮説を立て、これを実証する。研究方法は起立性調節障害で入院した小児を対象に 4 週間の運動療法を実施し、治療前後で起立試験、自律神経機能評価、筋肉量、大腿四頭筋の筋力を測定し、比較検討する。